









「30周年」後

七友会会長 佐原 和典

猛烈な暑さが、漸く収まってきた感のある今日この頃、会員の皆さん はお元気にお過ごしのことと存じます。

この夏は例年になく暑く、私の住む福岡でも猛暑日の連続記録更新や平均気温の30℃超などと、たいへんな日々が続きました。さらに「ゲリラ豪雨」や「竜巻」などの異常気象は、各地に大きな被害をもたらし、会員の中にも被災された方がおられると聞いています。心より御見舞い申し上げます。

さて、同窓会設立30周年行事から2年。それは、東日本大震災からの2年でもありますが、被災地の「復興」は遅々とした歩みのままで、歯痒い思いが続きます。私たちは、2年前のあの討論会で、何ができるのか、何かをしなくてはいけないのではないか…と、同窓会と学部が一緒になって話し合いました。「震災を風化させてはいけない」との強い決意を持っていこうと、交流会を開きました。その後の会を取り巻く様々な動きを少しお話します。

=大学= ご存知の方も多いと思いますが、震災直後から、学生や地域への様々な支援を行ってきました。復旧から復興へと取り組みが変わっても「『岩手の復興と再生に』オール岩大パワーを」のスローガン通り、現在も着実に続いています。取り組みは、技術や産業から心の問題まで多岐にわたり、5月に訪れた釜石サテライトのような施設での、今後の研究・実践が期待されています。

=学部= 震災前から施設面では大きく変わっています。人社4号館は「学生センターA 棟」へ、3号館は「学生センターB棟」へと様変わりし、ここに全学の様々な機能が集中してきました。改編が進み、現在は、人間科学課程、国際文化課程、法学・経済課程、環境科学課程に分かれており、教員数は約70名と少なくなっています。これは、大学の法人化や予算の問題、文系学部の統合問題に加えて、「評価」というものも複雑に絡んでいるからです。学部は将来も存続できるのか…これは今でも懸念され続けている大きな課題なのです。そんな中でも明るいニュースは、学部出身者で3人目となる教員の誕生や、大学院が財団法人日本臨床心理士資格認定協会から臨床心理士養成の第1種大学院に指定されたことでしょうか。

=会の現状= 30周年行事の討論会以後、学部と共に取り組む具体案はでていません。話し合いも中断しています。ただ、学部就職委員会と共催ではじめた「進路選択セミナー」は、小さな光かも知れません。会自体の運営は、あまり変わっていません。会員のほとんどが働く世代であることは、活動に積極的に協力してくれる方が多くならない限り、暫くはこのような状態かもしれません。ただ経費は年々少しずつではありますが増えていますので、特別積立の取り崩しで予算を組むようになっていくのも現実です。決算書等をよくご覧下さい。

最近、早く同窓会(交流会)を開こうという声をよく聞きます。ほとんどは一期生からですが、「定年」というものが迫ってきていること、同世代の死に直面する機会が増えたことで、今のうちに会っておきたい…という思いがあると思われます。一期生だけでも集まろうか…とも考えています。職場や同期で集まる機会があれば学部の事、同窓会の事も多く語って下さい。会では、地元盛岡の支部活動の活性化を願っています。ネット利用も日常的になり、大学のホームページを見れば、大学の様々な動きが掴めますし、同窓会のホームページもリンクしていますので、最新の情報も意見も伝えられます。あとは皆さんの活用次第でしょうか。少しずつの御協力お願いします。

目次

「30周年」後 1
評議員会報告2
平成24年度事業報告 2
平成24年度会計決算報告… 3
監査報告3
平成25年度事業計画 4
平成25年度会計予算 4
その他 4
「進路選択セミナー」開催報告 … 5
会員の皆さん、連絡先 … 6 をお知らせ下さい
卒業生・修了生の懇談会開催 … 6
計 報



同窓会連合の動き ……… 6



評議員会報告

平成25年度の評議員会は、去る6月22日(土)、盛岡市のアイーナ(岩手県民交流センター)711号室において、17名が出席して開か れました。会では、以下の議題について討議し承認されました。

特に「就職ガイダンス」への支援については、4月20日(土)に開いた理事会での議論を踏まえて、例年11月に開催している3年生 対象の「学部就職ガイダンス」とは別に、全学年を対象とした「進路選択セミナー」を年2回程度開催していくことになりました。セミ ナーの事業化にあたり、予算面での措置として、平成26年度から予算項目「文化事業補助」を「在学生支援活動費」と変更することも決 められました。

なお、今年度計画した事業等について検討したところ、予算面での不足が懸念されたため、特別会計の「特別積立金」より一般会計へ の一部繰り入れを行なうこととなりました。この傾向は、しばらく続くと考えられます。

▼ 平成24年度事業報告

平成24年度は、学部の就職ガイダンスへの支援の強化を中心に活動しました。昨年までの就職ガイダンスは就職活動に入る直前の3年 生を対象として11月頃開催していましたが、それに加え、様々な職業の実像を知ってもらうことで、より広い視野をもてるような「ガイ ダンス」の実施を検討しました。そして、学部就職委員会とも協議の上、平成24年6月と平成25年2月の2回、学部内で開催しました。 (詳細は、会報35号・36号に掲載) 告知方法などの反省点もありましたが、内容については概ね好評で来年度も実施する方向で就職委員 会と協議しました。

大学との関係では、同窓会連合の一員として共催した「岩手大学卒業生・修了生と学長との懇談会(第5回)」が東京・市ヶ谷で開催 され、七友会からは13名が参加し、活発な意見交換・交流がおこなわれました。

会報は、9月に第35号、平成25年3月に第36号を発行しました。新入生の父母への送付も引き続きおこなっていますが、今後は住所不 明者への対策が急がれるところです。

なお「七友会設立30周年記念事業DVD」は、平成25年3月に関係各位へ発送することができました。 平成24年度のおもな活動は次の通りです。

型成24年 4 月 7 円(十) 新入生父母懇談会(於 人文社会科学部 大志田理事出席)

「七友会だより」送付と同窓会の活動について説明・

4月20日(金) 在盛岡OB観桜会

理事を中心に9名が参加、竹村就職委員長と意見交換

5月13日(日) 菊池亮介先生の葬儀へ弔意文を送る

6月8日(金) 人文社会科学部 就職ガイダンス「働くこと・就職を考える」

(於 学生センターB棟多目的室/0810名、学生27名、教員3名)

テーマ:「就職」と「仕事」について自ら考え、自ら選択していくために

6月9日(土) 岩手大学開学記念講演会 · 園遊会 (於 岩手大学 佐原会長出席)

6月11日(月) 岩手大学同窓会連合 第7回理事会(於 岩手大学事務局 第1会議室)

> 議題:平成23年度事業報告(案):決算報告(案)について 平成24年度事業計画(案)・会計予算(案)について その他

佐原会長、松岡理事が出席

6月16日(土) 平成24年度 評議員会(於 アイーナ501 B会議室 15名出席)

> 議題:平成23年度事業報告・決算報告・監査報告について 平成24年度事業計画(案)・会計予算(案)について 就職ガイダンス支援強化について

> > 役員改選 ほか

6月30日(土) 第5回 岩手大学卒業生・修了生と学長との懇談会・懇親交流会

(於 東京・市ヶ谷「アルカディア市ヶ谷」 13名出席)

9月25日(火) 会報『七友会だより』第35号発行・会員へ順次送付

11月6日(火) 人文社会科学部 就職ガイダンス

第1部 講話(於 G|大教室 講師:櫻 幸恵氏/4期生)

第2部 就職内定者の就職活動体験談・情報交流

(於 中央学生食堂 佐原会長、櫻氏出席 全体で30名程参加)

「就職ガイダンス」について就職委員会と打ち合わせ 11月19日(月)

> (於 学部ミーティングルーム 佐原会長、竹村就職委員長、内田副委員長) 岩手大学同窓会連合 第8回理事会(於 岩手大学事務局 第1会議室)

議題:平成25年度「卒業生・修了生と学長との懇談会(第6回)」について

次期役員について

その他

佐原会長、松岡理事が出席

平成25年2月22日(金) 人文社会科学部「キャリア・ガイダンス」

(於 学生センターB棟多目的室/OB11名、学生6名、教員4名)

会報『七友会だより』第36号発行・会員へ順次送付 3月11日(月)

岩手大学卒業式(於 岩手県民会館大ホール 佐原会長出席) 3月22日(金)

人文社会科学部 卒業祝賀会(於 中央学生食堂 佐原会長出席)

次年度「就職ガイダンス」について打ち合わせ(佐原会長、内田副委員長)

「七友会設立30周年記念事業DVD」関係各位へ送付

3月吉日 退官教官へ記念品贈呈(2名)

退官:川本榮三郎先生、佐藤芳彦先生

平成24年度 会計決算報告

1. 一般会計 <歳 入>

(単位 円)

	科						予	算	額	決	算	額	比	較均	当 減	備	考
前	年	夏	繰	,	越	金	2.9	10.4	195	2,91	0.4	95			0	普通預金	
会						費	4.6	0.00	000	4,28	30.0	00	Δ	320.0	000	20,000円×214名	
特	別 숲	È ∄t	よ	り	繰	入			0			0			0		
雑			収			入			726	34	13.6	05		342.	879	利息及び歳計外現金収入(800+2	35.090+97.715)
			ā†				7.5	511,2	221	7,53	34.1	00		22.	879		

<歳 出>

科目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備考
1. 事 業 費	6,161,878	4.116.730	2,045,148	
1)会報発行関係	1,700,000	1,620,100	79,900	
ア. 会報等印刷費	900.000	886.515	13.485	会報2回印刷
イ. 会報等郵送費	800.000	733.585	66,415	会報郵送費
2) 会 員 活 動 援 助 費	500,000	448.301	51,699	評議員会宿泊・就職懇談会補助など
3)卒業記念品贈呈費	100.000	100,000	0	33期分積立
4) 支 部 援 助 費	400.000	315,740	84,260	関東支部HP維持管理運営費
5)文化事業補助	600.000	551.955	48.045	就職ガイダンス及びキャリアガイダンス(2回)等
6)寄 付 金	500.000	500.000	0	人文社会科学部へ奨学寄付金
7)同窓会連合負担金	500.000	500.000	0	
8) 同窓会設立30周年記念事業費	1,811,878	63,254	1.748.624	記念 DVD 製作費等
9) 諸 費	50.000	17,380	32.620	退官教員への記念品等
2. 会 議 費	700.000	354,476	345.524	
1) 評 議 員 会 会 議 費	500.000	354.476	145.524	評議員会諸経費
2)諸 会 議 費	200,000	0	200.000	理事会諸経費
3. 事 務 費	500,000	467,852	32,148	事務用品、データ管理・HP協賛金他
4. 特 別 積 立 金	0	0	0	
5. 雑 費	100.000	100.000	0	事務謝金
6. 学部設立40周年記念積立	0	0	0	
7. 同窓会設立40周年記念積立	0	0	0	
8. 予 備 費	49.343	0	49.343	
計	7,511,221	5.039.058	2,472,163	

平成24年度収支決算

歳 入 合 計 7.534.100円 歳 出 合 計 5.039.058円 差引残高(翌年度繰越) 2.495.042円 普通預金

2. 特 別 会 計 <歳 入>

(単位 円)

科目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
1. 前 年 度 繰 越 金	41.397.045	41.397.045	0	
2. 新規積立金	100,000	100,000	0	
3. 利 息	24.408	11.487	(12,921)	
- ET	41,521,453	41,508,532	(12.921)	

<歳 出>

科		予 算 額	決 算 額	比較増減	備考
1. 一般会	+ へ 繰 出	0	0	0	
2. 積 立	立 金	41.521.453	41.508.532	(12,921)	年度末積立金額=翌年度繰越額
1)特別:	責 立 金	28.583.144	28,574,790	(8,354)	8.467円(利息)+28.566.323
2) 卒 業 記 ;	念 積 立 金	3.571,302	3,570,549	(753)	832円(利息)+3.469.717+100.000
3) 学部設立40	周年記念積立	7,395,376	7,393,820	(1,556)	1.712円(利息)+7.392,108
4) 同窓会設立4()周年記念積立	1.971.631	1,969,373	(2,258)	476円(利息)+1.968.897
dž		41,521,453	41.508.532	(12.921)	

監査報告

平成24年度の会計を監査し、正しく処理されていることを確認しました。 平成25年6月22日

 監査員
 小桧山
 修

 監査員
 工
 藤
 康
 身

平成25年度事業計画

今年度は、学部の「就職ガイダンス」への支援を活動の中心に位置づけ、積極的に協力していきます。

特に、昨年度からはじめた「ガイダンス」を「進路選択セミナー」として学部就職委員会と協力しながら実施し、学生の進路や就職へ の一助にしたいと思います。

また、復興への支援、震災の記憶を風化させないための活動についても、引き続き検討していきたいと思います。

平成25年度 会計予算

1. 一般会計<<歳入>

(単位 円)

1.120	/ \ /									(
	科			8		予 算 額		備	考	
前	年	度	繰	越	金	2,495,042	普通預金			
会					費	4.600.000				
*	特別	会言	†	り糸	梨 入	1,000,000				
杂隹		Ц	V .		入	800	利息			
		5	†			8,095,842				

<歳 出>

科目	予 算 額	平成24年度予算額	備考
1. 事 業 費	4,450.000	6.161.878	
1)会報発行関係	1.700.000	1.700.000	会報発行(2回予定)
ア. 会報等印刷費	900.000	900,000	
イ.会報等郵送費	800.000	800,000	
2) 会員活動援助費	600.000	500.000	親睦会・交流会等(6/5現在 145,270-)、学長との懇談会補助
3) 卒 業 記 念 品 贈 呈 費	100.000	100,000	34期分積立
4) 支 部 援 助 費	400.000	400,000	関東支部(ホームページ維持費)、仙台支部 他
5) 文 化 事 業 補 助	600.000	600,000	就職ガイダンス(旅費)等(支援も含む)
6) 寄 付 金	500,000	500,000	人文社会科学部へ寄附
7) 同窓会連合負担金	500.000	500.000	年間会費分
8) 同窓会設立30周年記念事業費	0	1,811,878	
9)諸 費	50.000	50,000	慶弔費
2. 会 議 費	1,000.000	700,000	
1) 評 議 員 会 会 議 費	500.000	500,000	評義員会諸経費
2)諸 会 議 費	500.000	200.000	4/22 理事会他(6/5現在 389,240-)
3. 事 務 費	500.000	500.000	事務用品、データ管理費、ホームページ維持費等(6/5現在 15.876ー)
4. 特 別 積 立 金	0	0	
5. 雑 費	100.000	100.000	事務謝金
6. 学部設立40周年記念積立	0	0	
7. 同窓会設立40周年記念積立	1.748.624	0	同窓会設立30周年記念事業費残金
8. 予 備 費	297,218	49,343	
- -	8.095.842	7,511.221	

2. 特別会計

<歳 入>

(単位 円)

科目	予 算 額 平成24年度予算	領
1. 前 年 度 末 繰 越 金	41,508,532 41,397,04	5
2.新規積立金	1.848,624 100.00	D 卒業記念品贈呈費100.000円、同窓会40周年記念1,748.624円
3. 利 息	11.487 24.40	3
āt	43.368.643 41.521.45	3

<歳 出>

科目	予 算 額	平成24年度予算額	備考
1. 一般会計へ繰出	1.000.000	0	
2. 積 立 金	42,368,643	41,521.453	
1)特別積立金	27.583,257	28,583,144	28.574,790(決算)-1.000.000+8.467(利息)=27.583.257
2) 卒 業 記 念 積 立 金	3.671.381	3.571,302	3,570,549+100,000+832=3,671,381
3) 学部設立40周年記念積立	7,395.532	7,395,376	7,393.820+1,712=7,395.532
4) 同窓生設立40周年記念積立	3,718,473	1,971,631	1,969,373+1,748.624+476=3,718,473
ēt	43,368,643	41,521,453	

• その他

30 周年記念事業収支報告

(単位 円)

A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	予 算 額	決 算 額	残 額	
平成22年度 支出額	2,000,000	946.209	1.053,791	←23年度30周年記念事業費へ
平成23年度 支出額	5,053,791	3.241.913	1,811.878	←24年度30周年記念事業費へ
平成24年度 支出額	1,811,878	63,254	1.748.624	←同窓会40周年記念積立へ
総計		4,251,376		

今から 生かせることが いつくもあった…

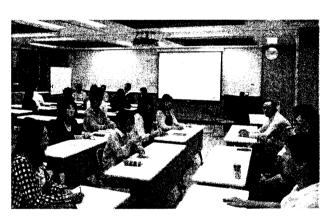
「進路選択セミナー」開催報告

(主催:七友会・学部就職委員会)

去る、6月21日(金) 17時から、学生センターB棟多目的室で開催しました。これは、在学生への支援活動として、昨年度から実施している「キャリアガイダンス」を「進路選択セミナー」と改めたもので、同窓会と学部就職委員会が共催するものです。また、例年行っている就職活動開始直前の3年生を対象とした「学部就職ガイダンス」とは違い、全学年を対象に就職も含めた将来の進路を考える際の選択肢を広げてもらうために開くものです。毎回、先輩達が自身の仕事の実像を語るとともに、フリートークでは、学生の持つ様々な疑問を解消し、ミスマッチを少なくできればと考えています。今回は、4人の講師と4人のオブザーバーの計8名が、3年生を中心とした40名弱の学生に熱い思いを語りました。

第1部 講師が語る仕事の実像と伝えたいこと (17:00~18:30)

今回は、栗林健司氏(北海道放送㈱、大阪支社)、明地幹子氏(盛岡市役所、市民登録課)、大澤雅昭氏(春日部市役所、福祉部長)、塩田勝美氏(㈱日本旅行、総務人事部長)の4名の方々が、就職や仕事上の様々な体験を踏まえて、今伝えておきたいことを熱く語りました。特に塩田氏は仕事の都合上なかなか出席できずにいましたが、今回ようやく実現し、参加した学生は貴重な話が聞けたのではと思っています。



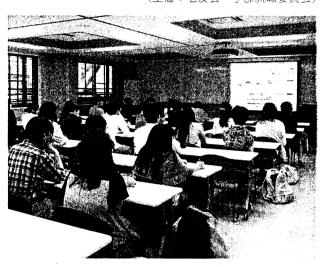
〈参加学生の声(抜粋)〉

- ・普段聞くことのできない話が聞けた…
- ・仕事の内容がある程度、はっきりとイメージできた…
- ・限界や壁を決めつけるな…
- ・今、自分が何をすればいいのか、少しわかった様な気がする
- ・実感していなかった"職"というものが、少しはっきりしてきた
- ・会話のスキルの大切さ…
- ・自分のこだわりを持った人…
- ・気が付く人は重宝される…
- ・貴重な話をありがとうございます…次回も参加したい。
- ・将来、何をしたいか、しっかり見つめ直して、早めに行動!

次回は…

平成26年2月7日(金)を予定

詳しくは、1月中に学内に掲示されます。 人文社会科学部全学年対象で、参加は自由。 17時から19時30分くらいまでを予定しています。



第2部 疑問解消のフリートーク

(18:40~19:30)

4名の講師の他に、オブザーバーとして参加している佐藤泰氏(サトーブリンティング㈱)、大谷敬氏(法務省、刑務官)、足立慎悟氏(横浜人形の家マネージャー)、佐藤伸樹氏(防衛省、統合幕僚監部)の4名も加わり、公務員関係と民間企業の2つのテーブルに分かれてのフリートークタイム。30分位で入れ替わりながら、疑問、質問に答える熱いバトルは、もう少し時間がほしかった感じです。



今回の講師の方々です。 左から 大澤雅昭さん、栗林健司さん、明地幹子さん、塩田勝美さん

講師やオブザーバーで参加できる方は お知らせ下さい。

毎回、違った職業の方を講師に考えていますので、事務局からお願いする時もありますので、会員の皆さんの御協力をお願いします。学部のカリキュラムや学生の参加しやすさ等を考慮して週末の金曜日、17時頃からの開催としていますので、参加が難しい方も多いかと思いますが、出席に要する旅費等は同窓会で支出しますので、よろしくお願いします。特に、学生からは女性の話の要望が多くありますので、様々な人生経験を話していただければと考えています。

会員の皆さん、連絡先をお知らせ下さい

同窓会では、毎年このような会報を発行しています。これらを皆さんに送るためには、連絡先の把握が重要になりますが、転居等で連絡先が不明になることが多く、現在、4割強の方が不明状態になっています。

連絡先は現住所でも実家等家族住所でも構いませんが、確実に連絡のつくところをお願いします。転居等の際には郵便局への届出と共に、 事務局へもお知らせ下さい。

なお、寄せられた情報は同窓会活動のみに利用されるもので、事務局で一括管理されています。また、会費については、ほとんどの方が入学時に納められていますので、特に請求されることはありません。同窓会活動は、ほとんど会員のボランティアで運営されています。 今後の学部の発展及び同窓会の親睦のための活動に、ぜひ御協力下さい。

※ 友人で会報の届いていない方は、連絡先不明になっている可能性があります。すぐに事務局までお知らせ下さい。

連絡先情報

	AL 414 7	- 11.776
氏名	卒業 (男·女) 専攻	期 (s H)
現住所 〒		
(自宅) TEL FAX	/ 携帯	勤務先名等(可能なかぎり)
E-mail		
家族等連絡先 〒		

『卒業生・修了生と学長との懇談会』が 盛岡で開かれました

去る7月13日(土)、第6回目となる「卒業生・修了生と学長との 懇談会」が盛岡市のホテルメトロポリタン盛岡本館4階「岩手」で 開催されました。この懇談会は、社会で活躍する卒業生・修了生に 大学が進める改革や取組を伝えるとともに、大学の教育・研究・社 会貢献に対する率直な意見を聞く機会として開くもので、第3回目 の仙台開催から、岩手大学と同窓会連合が共催しています。今回 は、盛岡市在住の卒業生・修了生を中心に100名を越える方が参加されました。

懇談会では、大学や各学部から「震災から復興への取組」を中心 とした現状報告や紹介がありました。参加者からの質疑・応答のあ とには各学部同窓会からの近況報告もありました。

会費制で行われた懇親交流会には、七友会からも25名ほどが参加 し「マンドリンクラブ」の演奏などもあって、和やかな雰囲気で会 が進み、最後は、参加者全員で「学生歌」を合唱しました。来年度 は関西方面を検討しています。



= 計 報 =

去る9月5日、岩手大学名誉教授で、元人文社会科学部長、砂山克彦先生がお亡くなりになりました。(享年69歳)砂山先生は、「労働法」が専門で、労働事件(不当解雇や過労死事件など)に関する裁判例の研究、労働協約の研究や福祉労働の研究などを中心に教鞭をとられ、多くの学生を育てられました。また、学部長在任中に学部創設30周年を迎えられ、様々な行事を行いました。

柔和な語り口がなつかしく思い起こされます。 心よりご冥福をお祈りいたします。

去る5月13日(月)、岩手大学事務局第1会議室で、第9回岩 手大学同窓会連合理事会が開かれ、平成24年度事業報告・決算 書・監査報告書及び平成25年度事業計画・予算書について審議 し、了承されました。

また、役員改選も行われ、次期同窓会連合会長に桑島博北水会会長が選出され、会長代理には、黒川國児北桐会会長が指名されました。任期は平成25年6月1日から平成27年5月31日までです。

岩手大学人文社会科学部同窓会 <七友会>

[郵便宛先] 020-8550 盛岡市上田3-18-34 岩手大学 人文社会科学部内「七友会」宛 [事 務 局] Tel(留守録) & Fax: 047-336-3945 E-mail:jimu@jinsya.com

ホームページもご覧ください!

http://www.shichiyukai.net/ http://www.jinsya.com/(関東支部)